

頼高市長のあったか市政を問う

一般質問



議長
川島善徳

12月定例会では、
15人の議員が、市
政に対する一般質問
を行いました。



一般質問

三輪 かずよし 議員

平成22年度予算編成について どう取り組んでいくのか

議員 予算編成に臨む理念について伺いたい。

総務部長 重点施策として掲げている5つの柱に沿って、安全・安心きれいなまちづくりや子育て支援、教育・文化・スポーツの振興、高齢者障害者を初め、市民たれもが健康に暮らせるまちづくりなどを充実させている。

議員 経費の節減、国保税の低収納率対策について具体的に伺いたい。

市長 人件費については、来年度は今年度より1億6千万円くらい少なくなる。

また、国保税の収納率についてだが、蕨の国保税の水準は県内で見ても非常に低い方のグループであるので、収納対策を一層強化しようということ、県から職員を派遣してもらい、集中的に滞納対策を行う努力をしていく。

議員 新生会の予算要望に対する取り組みについて

重点取り組みである蕨



着々と工事が進む蕨駅西口再開発事業（中央1丁目）

駅西口再開発第二・第三工区を早期に推進すべきと考えるがどうか。

都市整備部長 庁内に検討委員会を設置し、再開発の手法に固執することなくゼロベースの視点に立ち戻り、蕨駅前広場のあり方や市有地の効果的な活用方法など課題を整理しながら、蕨駅西口地区の今後のまちづくりの方向性を検討しているところである。



みわ かずよし

小学校の統廃合について

議員 小学校の統廃合適正化についての検討がどのように進んでいるのか。

教育部長 小学校再配置等検討委員会を設置し、児童数減少に伴う学校の小規模化による児童への影響と、よりよい教育効果・教育環境の整備を図ることを念頭に置いて、適正規模、適正配置についての調査及び研究を進めている。その検討結果を教育委員会に報告、協議し基本方針として取りまとめ、市長部局に示す予定である。

議員 教育改革の推進にどのように取り組んでいるのか。

教育部長 新学習指導要領がスムーズに移行できるよう、改定の趣旨や変更点を踏まえた教育課程の編成の指導等や、さまざまな取り組みのなかで教育の充実や発展のため教育改革を推進している。

市の行財政改革の取り組みはどのように行っているのか

議員 本市の行政評価制度の取り組みと公表はどのようにされるのか。蔵版「事業仕分け」の取り組みはできないか。

総務部長 本市における行政評価制度は、事業の必要性・有効性・効率性等の事業評価を行い、事業の改善・見直しを図ろうとするものである。12月下旬にも取りまとめ次第、議会、市のホームページに公開する。

事業仕分けは、厳しい財政状況下にあつての有効な手段であり、行政評価と併せて調査・研究を進めてまいりたい。

自主財源の確保について

議員 自主財源の確保として、2年前の最初の一般質問でもしたが、市のホームページのバナー広告、封筒、パンフレット、案内標識、公共施設、コミュニティバス、公用車、ゴミ収集車等への広告利用による収入を計る取り組みはできないか。

総務部長 厳しい財政状況下で、自主財源の創出という観点から進めていくべき事業である。バナー広告については、要綱の承認を受け、今月より広告の募集を開始し、既に、2月から6月の掲載希望を頂いている。今後も、市有財産への広告の活用についてはできるものから積極的に進めていく。

LED防犯灯の設置について

議員 防犯灯について、今後新設・建て替え設置においてLED防犯灯利用はできないか。また、経費節減になる電気料一括払いの検討はできないか。

市民生活部長 LED灯は、白熱灯や蛍光灯に比べ、寿命が長いことや、低消費電力で省エネや環境への配慮にも貢献できることから、今年度よりLED防犯灯を設置していく。電気料一括払いによる割は、口座引



たかはし えつろう



低消費電力で省エネや環境への配慮したLED防犯灯（北町5丁目）

き落として、1年か半年の前納が条件で、1契約について月10円50銭が割引になるので、防犯灯の取りまとめ事務や支払い方法を調査・研究してまいりたい。

市長 経費削減という観点で、事務とかかる手間、費用とその削減効果をよく検討してみる必要がある。

ほかに 「生活環境の保全」「高齢者の聴覚検診」について質問。

岡田栄次 議員 温水プール・図書館・保育園の複合施設建設実現を求めて



おかだ えいじ



温水プールを利用して水泳教室が開催（戸田市スポーツセンター）

規施設を含む複合施設の建設については、社会情勢や市の財政状況、市民ニーズ等を踏まえ、その重要性について慎重に見きわめ、対応してまいりたい。

議員 本市の狭隘な状況を鑑みて、行財政基盤の再構築を目指すうえからも複合施設を建設し、土地の高度利用を図るべく、温水プール等の建設をすべきと思う。

平成22年度予算編成方針について

議員 特別会計等への繰入金が出予算の2割を占める状況の中で、今後とも増額傾向は解消されないのか。

総務部長 会計別に見ると、介護保険特別会計のように、保険給付費等の一定割合を一般会計が負担する仕組みにおいて、高齢化の進展とともに年々自然増となる会計があるほか、公共下水道事業などの

議員 複合施設として温水プール・図書館・保育園を包含した施設を建設する考えはないか。

総務部長 再整備・再配置の手法の1つとして施設全体の総量を削減するため、複合施設を建設することも考えられるところであるが、各種施策にかかる財源の確保が大きな課題となっている折、現時点では既存施設の長寿命化による有効活用を図りながら、新

健康福祉部長 本市の受給世帯が増加している主な原因としては、景気の影響が大きいと分析しており、この増加傾向は、全国的にも同じような状況で推移している。しかしながら、直面している被保護世帯の増加への対応として、稼働年齢層にある人たちの稼働能力を判定し就労支援等により就職に結びつけ、自立へと導けるような支援に力を傾けている。

「新型インフルエンザ」対策 どのように考えているのか

議員 「新型インフルエンザ」に伴う学年・学級閉鎖の実態と学習計画への影響はどのようか。

議員 昨年、65歳以上の高齢者に対する接種について質問したが、その後のどのような検討をなされたのか。

教育部長 9月から11月まで

における閉鎖は、休校は小学校1校において2日間、学年閉鎖は小・中学校合わせて8校における15学年で、延べ39日、学級閉鎖はすべての小・中学校における77学級において延べ17日実施されている。

本市における学級閉鎖の基準日数は、土日などの休業日を含めた連続した4日となっているので、それ以上の長期にわたる閉鎖はないが、やむなく複数回の閉鎖を実施した学級もある。

このことからそれぞれの学校では学習への影響が出ている学級と全く出ていない学級が混在している現状であり、各校においては状況に応じた対応を行っている。

「肺炎球菌ワクチン」接種について

議員 「小児用肺炎球菌ワクチン、ヒブワクチン」接種について、専門家はどのように述べているのか。また、市として独自の見解はあるのか。

健康福祉部長 11月時点での県の定期予防接種に関する調査によると、県内では10市町が一部公費負担により実施しているが、調査報告の中でワクチン供給量の問題や副作用に対する補償の問題などが課題として挙げられている。また、予防接種の助成については、今後国の動向や優先度について地元医師会の意見も踏まえ、実施に伴う問題点と合わせて研究してまいりたい。

「小児用肺炎球菌ワクチン、ヒブワクチン」接種について

議員 「小児用肺炎球菌ワクチン、ヒブワクチン」の接種について、専門家はどのように述べているのか。また、市として独自の見解はあるのか。

健康福祉部長 専門家によると、年間500から600人の子供が発症しており、ペテランの小児科医でも早期診断は難しく、その点ワクチン接種の意義は大きいと述べている。

1市が突出してやっていくというのは大変勇気が要ることと、財源の問題もあり、国全体の政策の中で位置づけすれば進んでいけると思う。



予防接種用ヒブワクチン



おいしい こういち

一般質問

ふたたび宿泊所ビジネス への対応と諸問題を問う

議員 弱者を食いものにする無料低額宿泊所。6月議会以降の対応はどうか。

健康福祉部長 収支報告の提出を施設に求めているが、いまだ提出はない。就労支援は入所者101人中48人を対象にしている。新規入所は、今年度上半期7人、前年同期比3人減。退所は3人となる。

議員 衣服・布団代の約3万1千円について、市内・近隣店舗からの領収書はあるか。

健康福祉部長 都内の団体の領収書が提出されている。

議員 施設運営団体は保護費を天引きし、福祉事業といいつながら、食事はレトルト食品など質が悪く、収支報告もしない。入所者の就労を妨害する実態もある。県等に報告し、規制強化を働きかけるべきと思うがどうか。

健康福祉部長 宿泊所の適正な運営にむけて県で検討が行われ、春までに結論が出る予定で、それを注目する。

議員 緊急一時避難所を市で

設置する考えはないか。

健康福祉部長 国の補助制度での検討をしたが、適切な施設（ホテルなど）がなく、困難である。

北町学童保育室について

議員 北町学童室B館が開設し喜ばれているが、課題もある。改善状況はどうか。

健康福祉部長 水のみ場、土足禁止廊下、遊具置き場、校



放課後に元気に遊ぶ子供たち（北町留守家庭児童指導室B館）



かじわら ひであき

庭使用など、北小と協議し一部改善した。来年度登録児童が増えるので、必要に応じ引き続き市と北小で協議する。

議員 A館とB館の入室希望の配分見直しはどうか。

健康福祉部長 面談にもA館が多い。A館希望者の一部にB館に移っていただく。

町会等の活動に駐車規制除外の配慮ができないか

議員 違反取締りが最近厳しい。規制除外はどうか。

市民生活部長 北町1・4丁目6月から取り締まり範囲に加わった。医療・福祉車両の規制除外は警察管内で40件ある。

議員 町会活動など公益性が高い活動にも、規制除外するよう警察に要望してほしいがどうか。

市民生活部長 町会等の車両は、県の規則で規制除外にならないので理解してほしい。

最低賃金・市が独自に制定する 蕨市公契約条例を求めて！

議員 全国の都道府県の71自治体で既に採択された公契約法(条例)の必要性を認めた意見書等への見解について伺いたい。

総務部長 本市議会においても平成18年6月に公契約における適正な労働条件確保に関する意見書が採択されており、市としても建設労働者の安定的な雇用と賃金体系の向上を図ることは、建設労働者の育成と建設業の健全な発展につながり、ひいては公共工事における安全や品質の確保に資するものと考えている。

議員 市が発注する工事費や委託契約における人件費の位置付けについてどう考えているのか。

総務部長 受注者側による人件費の積算は労働基準法、最低賃金法などの関係法令になったものであることを前提としている。なお、過度の低入札価格による受注を防止するため、工事においては最低制限価格を設けており、20年



拡幅改善工事が望まれる稲荷越通り（北町3丁目）

度より予定価格の75%まで引き上げたところである。

議員 全国初の千葉県野田市公契約条例が制定されたが、本市も検討してはどうか。

総務部長 国や他自治体の動向を注視しながら公契約条例の研究をしてまいりたい。

市道23・12号(稲荷越通り)の改善について

議員 北町3丁目地内市道23・12号(稲荷越通り)は、狭



いちのせき かずいち

隘であり、道路交通上支障をきたしていると思うが、市の認識とその改善についてどう考えているのか。

都市整備部長 平均幅員が58メートルと狭い上、見通しが良好でなく、比較的交通量が多い道路であると認識しており、改善策としては拡幅が課題解決と考えているが、土地所有者の合意形成と用地取得等のための予算確保が必要で、早期の改善は難しいものと考えている。

塚越陸橋改修工事の 進捗状況について

議員 塚越陸橋改修工事の進捗状況と今後の見通しについて伺いたい。

都市整備部長 本年度中の完成は見込めないものと考えており、予算執行上の取り扱いとしては、今後JRとの協議経過を勘案して決定してまいりたい。

あつたか市政を問う



毎年たくさんの人で賑わう中仙道宿場まつり

今井良助 議員 市制施行50周年を契機とした 市活性化の取り組みを問う

議員 次の時代を拓く魅力あるまちづくり・にぎわいづくりを考えないか。

総務部長 市制施行50周年記念事業を通して多くの市民の出会いや触れ合いをさらに広げるとともに、地域への愛着と多様な交流に満ちたコミュニティの温かさや歴史・文化など蕨市のよさを再確認、再発見することができたと考えており、50周年を飛躍の契機として今後も市民とともに魅力あるまちづくりを進めてい

きたいと考えている。

特に、来年度からスタートする行政経営戦略プランに続く新しいプランでは、市民との協働のまちづくりを柱として、これからの市政を展開することを検討している。

議員 市民と一体となった事業施策を検討する考えはないか。

総務部長 市民の地域活動については協働のまちづくりの観点からも、今後ますます重要になると考えているので、地域行事への支援を含め、市民と市が一体となった事業が展開できるよう市民とともににぎわいのある住みよい地域社会づくりを進めてまいりたいと考えている。

増加する生活保護 について

議員 本市の生活保護率の上昇という現



いまい りょうすけ

状をどう分析しているのか。

健康福祉部長 9月末時点の保護世帯の類型別の増減では、前年同月と比較して総数では70世帯から84世帯と16%の増であるが、高齢、母子、障害、傷病などの世帯分類に属さないなどを理由とした受給世帯を含むその他の世帯が13世帯から24世帯と33%増えており、昨年のリーマンショック以降の景気悪化が大きく影響しているものと分析している。

議員 今後の対応策についてどう考えているのか。

健康福祉部長 以前から被保護者の就労などによる扶助費歳出額の縮減に向け努力してきたが、今後も国のセーフティネット補助金の対象として全額補助を受け、8月から自立支援相談員を1名増員し、被保護者の日常生活の自立や求職活動の相談、援助の強化を図っているところである。

平成22年度の蕨市予算 編成について



街並みが整理される錦町区画整理地区（錦町5丁目付近）

議員 平成22年度に実施したい事業や拡充を図りたい事業は何か。特に、国保税の値上げストップの継続、こども医療費助成の年齢拡大、小学校3・4年生での35人学級の実施、障害者用シヨートステイの設置、錦町土地区画整理事業への繰出金の増額について考えを聞きたい。

総務部長 国保税と下水道料金の値上げ中止を平成22年度も継続する。こども医療費の

助成は、22年度は通院も中学校卒業まで年齢を拡大する。小学校3・4年生での35人程度学級の実施は、現在準備を行っており、新年度から実現したい。障害者用シヨートステイは、総合社会福祉センター内での実施に向けて社会福祉協議会と協議・検討を続けており、引き続き詳細を詰めている。錦町土地区画整理事業については、事業を進めるために少しでも多くの財源配分をしたいと考えている。

障害者生活サポート事業の実施について

議員 県が補助する障害児者生活サポート事業（県内で64市町村が実施）は、団体が行うサービスに対して県と市と利用者が1時間当たり各々950円を支払つので、レスパイトサービスより幅広いサービスが受けられる。低所得



しむら しげる

世帯で18歳未満の利用の場合は、利用料を全額県が補助する。本市でもレスパイトサービス事業を組み込んで生活サポート事業を実施すべきだ。

健康福祉部長 生活サポート事業にレスパイトサービス事業を組み込んだ場合、複雑な制度になることが考えられるため、今後、これらの課題やそれぞれの制度の利点などを整理し、共に生かせる方法を研究していく。

生活保護行政について

議員 生活保護申請から決定までの日数が長すぎる。職員を増やして短縮すべきだ。

健康福祉部長 事務処理過程の見直しやケースワーカーの技量向上を図り、短縮したい。

議員 保護決定通知が本人に届くのが遅いときがあるが、行政連絡員が届けるのではなく、郵送にしたほうがいい。

健康福祉部長 検討する。

一般質問

中央第一地区の まちづくりについて

議員 現在、計画が策定されているが、内容はどうか。

都市整備部長 区画整理事業から、既存都市インフラを活用した都市計画による新たなまちづくりへ転換を図るため、県の指針に基づき策定作業を進めている。11月14日の住民説明会で計画素案目標と方針を提示し、今後は具体的な整備計画の策定を行う。

議員 権利者への意向調査が行われたが、その内容はどうか。

都市整備部長 地権者32名の内73名、41%が回答。基盤整備の在り方への考えや今後の土地建物の活用、まちづくりなどについて聞いた。

議員 駅前通りの整備についての設問に、沿道権利者の50%が「整備する必要なし（現状のまま）」、24%が「計画幅員を見直すべき」と回答していることは興味深い。ところで、地域住民や権利者に対する説明・協議の状況はどうか。



住民参加のまちづくりが求められる駅前通り商店街

都市整備部長 区画整理審議会委員による「まちづくり整備計画策定懇談会」を設置。他の住民・権利者へも「まちづくりだより」で情報提供している。今後は、商業系・住居系でのブロック別説明会の開催を行うなど、意見交換の場を設けながら進めたい。

議員 商店街のあり方等の地元意見を基調にしたまちづくりの例は多い。「住民参加のまちづくり」が必要。また、

ごみ集積所について

議員 他地域からの持ち込みや分別の不徹底などがあり、地域では「集積所」の維持管理に苦勞している。工夫した看板設置や指導などを求める。

自転車駐車場の改善を

議員 西口第一駐車場については利用者の距離制限の緩和を改めて求める。また、各駐車場を効率よく市民に提供するために、登録期間について、入学・転勤の時期を考慮し変更することを提案する。

市民生活部長 距離制限の緩和は必要と考える。自転車等駐車対策協議会の意見を踏まえ検討を進めたい。登録時期は調査・研究していきたい。



すasaki さとし

平成22年度予算編成に望むこと

議員 予算編成過程において、国並み多くの自治体で実施例のある「事業仕分け」の手法を導入する考えはないか。

総務部長 事業仕分けは事業を大幅に整理しなければならぬ危機的な財政状況下であつては一つの有効な手法と認識しており、本市においては毎年予算編成の中でシーリングを実施するなど、各部署でも無駄の排除を行うとともに、厳しい財政査定により経費のそぎ落としをしているので、今後は行政評価ともあわせて引き続き事業の改善、見直しに努めつつ、事業仕分けについての調査・研究を進めてまいりたいと考えている。

通級指導教室の新設について

議員 小学校における特別支援教育支援員の増員について、また、軽度発達障害に対応した通級指導教室を新設する考えはないか。

教育長 現在、ほとんどの小

学校において特別な配慮が必要と思われる通常学級に在籍する児童が複数いることから、個々の実態に応じたより適切な支援を進めるために各学校の状況を調査し、特別支援のさらなる増員について検討してまいりたい。また、通級指導教室の新設については発達障害、情緒障害通級指導教室の開設の必要性を十分認識しており、近隣市でも設置されていることから、市内の保護者からの要望も強いものと考えている。

教育委員会 としても、昨年度に引き続き本年度においても発達障害、情緒障害通級指導教室の開設に向けて県へ要望をしている。

南町地区留守家庭児童指導室の増設について

議員 入室希望者が殺到している南町地区留守家庭児童指導室に関して、南小学校内への増設を行う考えはないか。



おおしま こういち

健康福祉部長 今後入室希望者が増加傾向にある場合には、入室児童に対応するため適正な人数規模への分割などにより移行を実施する必要があることから、現在、利用者の利便性も考慮しながら検討しているところである。

教育長 学校については、管理という面で大規模改修、あるいは複合施設というような形をとらないとできないと考えている。



高齢者施設と児童施設が複合化された交流プラザさくら

健康教育として食育にどのように取り組んでいるのか

議員 平成17年6月に食育基本法が制定され、その後、学校教育における食に関する指導は、どのように取り組んでいるのか伺いたい。

教育長 本市においては、すべての小・中学校において食育の全体計画、年間指導計画を作成し、それに基つき教科等の授業や給食の時間、個別の保健指導の各分野において、計画的に食育を実践している。例を上げると、給食センターと協力して行われる栄養指導

議員 導教室、残菜見学。給食の時間においては、食のマナーや準備、後片づけ等日々指導している。さらに、個に応じた指導として、肥満などの悩みを抱える児童・生徒への相談や、アレルギーを持つ児童・生徒への対応などを行っている。

議員 心の教育のひとつとして、お弁当をつくることにより家族のありがたさ、感謝の気持ち但至少でも育つように、食育の日に合わせて年に何回か、お弁当の日を設けたらどうか。



地元農家の方と談話しながらの給食

教育長 心の教育はお弁当であったり、子供の家の手伝いとか、家庭でのそういう行動が大事であると思っている。食育の日の内容的なことも含めて、いろいろな工夫をしていきながら、家庭や学校で食育の日の定着を図ってまいりたい。



そめや かずこ

市長 お弁当をつくることによって親子関係、あるいは感謝の気持ち、いろいろな効果があるのかなと感じた。今回の質問を機に、今やっている質問を機に、今やっているのかもしれない。

消費者行政について

議員 消費者庁発足による本市の対応はどのようになっているのか。

市民生活部長 本市では、従来の消費者相談窓口を消費者安全法に基づく消費生活センターに位置づけ、窓口の機能の強化を図るため、国民生活センターに蓄積されている全国の消費生活に関する情報を随時活用できるパイオネットシステムを本年度中に導入、設置する。このシステムを活用することで、相談や苦情処理にこれまで以上の適切な対応ができるものと思っている。

あつたか市政を問う

市民活動サポートセンター の設置を求めて！



情報の集積・発信の拠点（戸田市民活動サポートセンター）

議員 市民活動ネットワーク懇談会が2年にわたり、市民活動をする人達・したい人達が集まり市民活動を展開する情報の集積・発信する場所である（仮称）市民活動サポートセンターの設置に向けての調査・研究を進めてきたが、本市はその拠点の設置についてどのように考えているか。

市長 最終的には場所を決めなければ進まないが、どういう機能が今必要なのか、また、



すが たかし

求められているのか。それをだれが担うべきか。蔽らしいスタイルになるのか。その点をもう一步詰めていく必要があるのではと考えており、その中で適切な場所が定まっていこうと思っている。

議員 設置場所は大変重要であり、駅前再開発地区内の新旭町公民館と併設を望む声があるがどのように考えるか。

市長 隣に公民館、まさに地域と協働を進めていく1つの拠点であるという面もある。いろいろなつくり上げ方とあわせて検討している。

公共公益施設内の カフェ出店について

議員 駅前再開発地区内の公共公益施設の1階に出店予定の障害者サービス事業はその後どのように協議されているのか。

健康福祉部長 知的障害者通

所授産施設レインボー松原において実施しているパンの販売を行うカフェの出店を希望したことから、法定事業として実施できないかと検討し、県とも協議をした結果作業室のほかに相談や静養ができる多目的室を設置しなければならないことなど、施設の基準を満たすことが難しいため、法定事業の実施については困難であると判断したところである。

新型インフルエンザ ワクチン接種について

議員 新型インフルエンザワクチンの供給量が少ないため、接種の予約を取るのが困難な状態にある。小児の感染、重症化を防ぐために新型インフルエンザワクチンの集団接種の実施を望むが、本市の考えはどうか。

健康福祉部長 1歳から6歳未満のお子さんを対象とし、12月23日の祝日に医師会主催により保健センターで実施する方向で準備を進めている。

一般質問

南町地区留守家庭児童 指導室の分割を求める



元気に遊ぶこどもたち（南町留守家庭児童指導室）

議員 新年度の留守家庭児童指導室の申し込み状況はどうか。

健康福祉部長 第一次受付の8室で申請件数は119人。

議員 南町地区留守家庭児童指導室については現状でも児童が多く指導にもいろいろな支障をきたしているが今後どのように改善していく考えか。

健康福祉部長 南町地区は12月の在籍児童数は60人で新年度は30人を超える入室希望者合計で80人超えることとなる

ことが想定される。適正な人数規模への分割などにより移行を実施する必要がある。

市長 2力所目を整備するのが現実的対応だと思う。課題はあるので検討していきたい。

保育行政について

議員 新年度の保育園の申し込み状況はどうか。待機児童をなくすような対策についてはどう考えているか。

健康福祉部長 現時点での申請件数は28人。低年齢児については定員の弾力化を図り最大限の受け入れを行っていくと同時に、公立保育園の待機児童を補完する認可外保育施設への入室をお願いしながら待機児童の減少を図っていく。

議員 育児休暇中の上の子の保育継続についてはどのように運用が変更になったのか。

健康福祉部長 途中退園する児童の環境の変化のデメリットなどを考慮し、全ての在園児について原則退園ではなく、家庭の事情や状況等によって継続するか退園するか保護者が選択できるよう取扱いを変更し、実施していく。

特別支援教育について

議員 小・中学校の普通学級に在籍する発達障害を伴う児童生徒の状況はどうか。

教育部長 医療機関で発達障害と診断されたのは12月時点で、小学校27名、中学校14名の診断の有無にかかわらず個別の指導・支援が特に必要と学校が判断したのは12月時点で小学校31名、中学校14名。

議員 発達障害・情緒障害の通級指導教室の設置については、引き続き県への申請を行っている。

教育部長 引き続き今年度も県へ要望し、早い時期の開設に向け努力する。

ほかに 耐震改修促進計画の策定について質問。



やまわき のりこ

早期に特別養護老人ホームを増設する考えはないか

議員 高齢化社会とともに介護事業の必要性・重要性が高まっているが、介護保険事業計画に明記されている特別養護老人ホームを早期に増設する考えはないか。

健康福祉部長 社会福祉法人が設置認可を県へ申請するに当たり、計画化の段階で県への相談と並行して市へも相談があるが、現在、事業者からの問い合わせはあるが、計画化までは至っていない。今後とも実現に向けて引き続き県と協議してまいりたい。

また、市の指定となっている定員29人以下のミニ特養についても公募の申し込みはない。今後、小規模多機能型居宅介護と合わせて再度公募するなど、計画の実現に向けて努力してまいりたい。

議員 PFI方式の形をとれば実現可能なのではないか。
市長 現状を見ると、その必要性がいろいろ指摘もされているので、昨今の厳しい財政状況の中でいろいろな角度か

ら研究するに値する課題と思っている。

蕨市自治基本条例の設置についてどのように検討したか

議員 市と市民が協働のまちづくりを進めるための基本的原則を定めた自治体の憲法とも言つべき自治基本条例だが、私が提言して7年経過しているが、その後どう検討をされてきたのか。

総務部長 どのような目的と内容で制定すべきものか、本市にとって必要な条例となり得るものかという吟味や、市民の条例制定に対する機運の高まりが必要であることなどを踏まえて、今後も研究してまいりたい。

市長 蕨に見合った協働の仕組みの構築を目指し、市民も交えて検討して実効性のあるものをつくっていききたい。



まつもと とおる

太陽光発電事業について

議員 温暖化対策として住宅用太陽光発電導入補助金制度を制定する考えはないか。

市民生活部長 この補助制度は国、埼玉県及び県内の28の市町で実施しており、地球温暖化防止は全世界的で取り組んでいる状況でもあり、本市としても、今後の検討課題と考えている。



クリーンな発電方式として注目される太陽光発電システム

あつたか市政を問う

住民参加の機会拡大について問う

議員 足元の自治の質を高めるため、重要政策の決定の際に、住民投票条例の活用など、住民参加の機会を拡大し、住民一人ひとりの意思を問うことは考えているのか。

総務部長 住民投票については、市民参画の1つの手法であり、まちづくりに重大な影響を与える案件がある場合などに実施されてきた経緯がある。市民の意思を直接聞くことができるという特性の一方で、投票の判断に関する情報提供のあり方や議会制民主主義の尊重など、慎重に考えなければならぬ側面もあるが、必要に応じて検討すべきものと考えている。

議員 蕨を地域主権のモデル的なまちとするためにも、今後検討されるであろう自治基本条例の中に、住民投票の規定を設けることを要望する。

障害者福祉について

議員 現在、検討されている

市内における障害者のショートステイの概要はどのようなか。

健康福祉部長 ハート松原の施設を利用して平成22年度中に実施することを目指しているが、宿泊する事業を人所施設でないところで実施することに伴つさまざまな制約の中で、受け入れ可能な障害者の範囲などについて社会福祉協議会と詳細を協議している。

議員 隣接する川口市などが独自で行っている一時人所施設利用をすることはできないのか。

健康福祉部長 条例によつて入所できる者は川口市内に居住していることが要件としているので、他市からの利用はできないものと理解している。

市長 条例改正も伴つので、幾つかこちらの条件を提示して、それが多少あれば、川口市とそれなりの検討は



蕨市衛生センター北側にある埋立跡地を有効活用した、リサイクルフラワーセンター



いけがみ ともやす

できるのかと思っている。
議員 リサイクルフラワーセンターへの障害者派遣の詳細と、安全対策について伺いたい。
健康福祉部長 知的障害者授産施設レインボー松原から5名の派遣を考えており、22年度からは、ほかの精神障害者も対象として検討している。安全対策だが施設とセンターの往復や、作業時間中も専任の指導員が付き添つて指導に当たり、安全の確保をする。

平成21年12月定例会議案等に対する各会派の賛否結果

議 案 名	新生会	共産党	公明党	民主党	結果
食料の自給力向上と、食の安全・安心の回復に向けて、食品表示制度の抜本改正について国への意見書提出を求める請願	○	○	○	○	採択
破綻が目前であり毎年多額の税金が投入されている、議員特権である地方議員年金を廃止するよう、国に意見書を出すことを求める陳情	×	×	×	×	不採択
蕨市民会館設置及び管理条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	可決
蕨市在宅重度障害者手当支給条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	可決
蕨市デイサービスセンター設置及び管理条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	可決
蕨市総合社会福祉センター設置及び管理条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	可決
蕨市民体育館設置及び管理条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	可決
蕨市プール設置及び管理条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	可決
平成21年度蕨市一般会計補正予算（第４号）	○	○	○	○	可決
人権擁護委員候補者の推薦について	○	○	○	○	推薦
埼玉県市町村総合事務組合の規約変更について	○	○	○	○	可決
市長及び副市長の諸給と支給条例及び蕨市教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	可決
職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	○	○	○	○	可決
蕨市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	可決
食料の自給力向上と、食の安全・安心の回復に向けて、食品表示制度の抜本改正を求める意見書	○	○	○	○	可決

知っておきたい請願・陳情のしかた

① 請願を市議会へ提出する場合は、次の様式で作成し、あて名を市議会議長として議会事務局へ提出願います。② 請願の件名(○○○)に関する請願事項は陳情(内容は簡潔に明瞭にし、下水などの補修の請願・陳情は、なるべく略図をつけてください)③ 請願者の住所、氏名及び押印(多数人で請願・陳情する場合は、必ず代表者を決めてください)④ 請願は1名以上の議員の紹介が必要で、

紹介議員の署名または記名押印を受けてください。陳情の場合も様式は書類と同じですが、紹介議員は必要ありません。⑤書類・陳情の提出時期は、いつでもかまいませんが、当該定例市議会に欠席のものは、事務処理の都合上、定例市議会告示日の2日前の午後5時で締め切ります。なお、詳しいことは議会事務局（電話433-7733）へお尋ねください。

					住所
					氏名
					印

〇〇〇に關する請願名簿

○○○に関する請願

要旨

理由

紹介議員
氏名

〇〇〇に關する請願

請願者(代表者) 住所
氏名
他 名

蔵市議會
議長 〇〇〇〇 殿

(印) (印)

請願(表紙)

市議会の傍聴にお出かけください

市議会では、市民の皆さんの日常生活に関わる条例のほか、区画整理や道路整備、福祉サービス等、市が進めようとするさまざまな事業の計画や予算など、大事な案件が審議・決定されています。

こうした審議が行われる市議会は、原則として年４回の定例会（３月、６月、９月、１２月）が開かれており、その本会議は、会議公開の原則から、だれでも自由に傍聴できるところとなっています。

今月は議会の開催月です。日程を確かめ(議会議務局☎433-7733)傍聴にお出かけください。

市議会ホームページを
ご利用ください

市議会のしくみや市議会議員の紹介、過去の定例会・臨時会の会議録（現在、平成12年1月臨時会から平成21年12月定例会分まで掲載中）などが、ホームページでご覧になれます。お気軽にご利用く

ださい。

○ホームページの利用方法

市議会のホームページは、蕨市のホームページ(<http://www.city.warabi.saitama.jp>)とリンクしています。まず、蕨市のホームページをお開きください。次に、蕨市議会をクリックすると、簡単にご覧になれます。

編輯後記

もうすぐ卒業、入学シーズンがやってくる。入学式といえば、手をひかれ大きなランドセルを背負って桜の花咲く校門をくぐった日を思い出す。高校時代には桜の木がテニスコート囲んでいたため、入学したての私たち新入部員は、掃いても掃いてもコートに降り積もる花びらと格闘した。このところ、桜の開花が早い。蔵でも満開の入学式とはいかなくなってきた。地球温暖化の影響は水資源、森林、農業、沿岸域、健康など様々な分野に及ぶ。テレビやラジオから聞こえてくる「地球温暖化対策」低炭素社会への転換」という言葉を、BGMとして聞き流してはいけなところまで私たちは来てしまっているのだ。

委員長	池上 東一
委員	川島 善徳
	比企 孝司
	須賀 敬中
	山脇 紀子
	高橋 悦朗
	大嶋 公一